

にゅうがく しんきゅう

# 入学・進級おめでとうございます

がつ にち きん だい かいにゅうがくしき きょうこう  
4月7日(金)第45回入学式を挙りました

142名の新生が、長尾中学校に入学してきました。新2年生・3年生の皆さんは、先輩として優しく、頼ってもらえるような行動を期待します。

## 入学式での校長先生からのおはなし

142名の新生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆さま、本日は、お子さまのご入学誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆さま、本日はご多用にも関わらず、本校入学式にご臨席賜り、誠にありがとうございます。

さて、本日は、「夢をつかみとるうえで、自分を甘やかしているとうどうなるのか」について、皆さんと考えたいと思います。今年の大河ドラマ「どうする家康」でも野村萬齋さんが演じている今川義元という武将を知っている人も多いと思います。この武将はあの桶狭間の戦いで、もし、織田信長にうちとられていなかったならば、天下統一していたかもしれないくらいの武将なのです。

そして実は、江戸幕府を開いた徳川家康が子どものころ、その今川義元の人質となっていたのです。義元は家来に、子どものころの家康にむごい教育をしてやれ、と言ったのです。家来はどんなことをしたと思いますか。朝日が昇る前に起こされ、読み書きに始まり、剣や弓の稽古、休みもほとんどなく、一日が終わるころには疲れて、立ち上がれなかったほどでした。

しばらくして、家臣に義元が、「むごい教育はどうなっているか」と尋ねられました。家臣は得意げに、毎日鍛えてる様子を伝えました。それを聞いた義元はとても怒りました。家臣がとまどっていると、義元は次のように言ったそうです。「朝から晩までうまいものを食べさせろ。冬は寒くないように暖かくしてやり、夏は暑くないように涼しくしろ。遊ばせて、楽をさせろ。そうすれば大人になっ

た時、がまんのできない、長続きのしない、信頼の置けない人間になるだろう。そうすれば大抵の人間はダメになる。」といったそうです。要するに、甘やかされると我慢力のない人間になるという人間の本质についています。

最近の研究では、あらゆる分野の成功者は共通してこの「やり抜く力」「我慢する力」を持っている、ということが分かってきています。学力などと違い、数値で測れない力である、いわゆる非認知能力は、家で例えると、柱です。そして、学力など数値で表せる力が家という壁です。ここで、柱のない壁だけの家を想像してほしいのですが、もし、強い風が吹いたなら、そのような家はつぶれてしまいます。でも、柱がしっかりした家だと、少々風、たとえ地震がきたとしてもつぶれません。いかに「やり抜く力」「我慢する力」のような非認知能力が大事なかがわかります。ここで皆さんに聞いてみます。皆さんの人生や夢の実現に必要なものは頭の良し悪しですか。能力の高さですか。私の学力はそんなに高くありませんでした。高校も中退しています。バスケットボールで有名なマイケルジョーダンも高校2年生の時、代表メンバーにすら選ばれず、泣いていたそうです。

わたしたちの周りには、正解のない問題がたくさん横たわっています。授業でも正解だけでなく、皆で考え出した答えが求められるのは、もうすでに体験していると思います。そして、話し合い活動やプレゼンテーションの機会も増えてきたことでしょう。「発信する力」、まさに数値で測ることのできない非認知能力です。だからといって、学力をおろそかにして良いとは言っていません。学力「も」大事な力ですよ。

さあ皆さん新しい出発ですよ。「自分を甘やかすとどうなるのか。」「やり抜く力」「我慢する力」などの非認知能力のお話は、夢をつかみとる上で何かヒントが隠されていると思います。今日のお話を心に刻み、輝かしい未来への門出となることを祈念し式辞といたします。

令和五年四月七日

枚方市立長尾中学校 校長 葉山 秀樹